

荒川の
地域の情報や
予定されている
工事を紹介
します！



入間川流域
緊急治水対策プロジェクト

Vol. 8
令和6年度

特集！桜づつみ

荒川上流域の 花見スポット

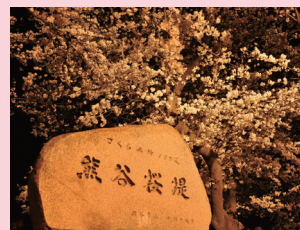
都幾川桜堤

八幡橋～学校橋の都幾川右岸およそ2km、堤が弓なりになっていて、約250本のソメイヨシノが遠くまで続く美しい景色は壮観です！学校橋付近の花畑は菜の花が咲き、「おおくらはなの回廊」として桜とのコラボレーションも楽しめます。

所在地 / 埼玉県比企郡嵐山町大字鎌形～大蔵



提供：嵐山町役場



熊谷桜堤

江戸時代から桜の名所として知られ、「さくら名所100選」に選定されました。毎年3月下旬から4月上旬に開かれる「熊谷さくら祭」には、約500本のソメイヨシノがおおよそ2kmにおよぶ桜のトンネルをつくり、多くの人々を魅了します。

所在地 / 埼玉県熊谷市河原町2丁目



提供：熊谷市役所

小ケ谷桜堤(西裏公園)

川越市の入間川河川敷にある桜堤です。堤防上に築かれた西裏公園は花見のスポットとなっています。

所在地 / 埼玉県川越市小ケ谷



提供：川越市役所

城ヶ谷桜堤

「桜堤」や「桜土手」の名で親しまれている城ヶ谷堤は、北本市内のお花見の名所です。毎年4月上旬には約60本のソメイヨシノのトンネルができあがります。

所在地 / 埼玉県北本市石戸宿7

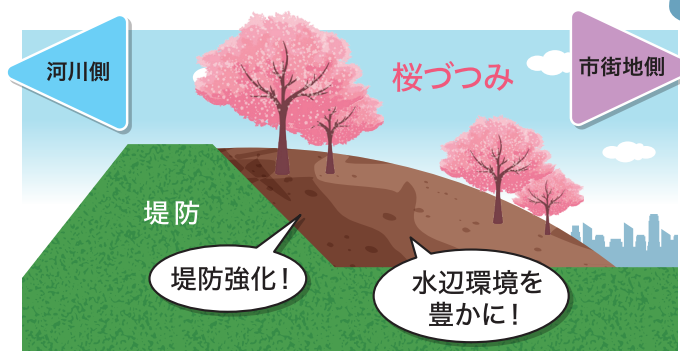


提供：北本市役所

桜づつみってナニ？

「桜づつみ」とは、堤防の市街地側に土を盛り、そこに桜などを植栽するものです。これは、積極的に良好な水辺空間の形成を図るとともに、堤防を強化することを目的としています。桜づつみの土砂、樹木などは水防活動時に利用する場合があります。

荒川は、東京・埼玉及周边都市にとって貴重なオープンスペースであり、多くの人にとって憩いと安らぎの場となっています。こうした機能を高めるため、沿川の自治体と役割分担しつつ、水辺空間の整備を進めます。



サクラソウの移植活動

サクラソウは、埼玉県の県花、さいたま市・戸田市の市花に指定されている重要な花です。また、「田島ヶ原サクラソウ自生地」は、国指定の特別天然記念物に指定されています。荒川太郎右衛門自然再生地区自然再生協議会では、河畔林の植生管理として、中池湿地にサクラソウを移植しています。

荒川上流河川事務所の
ロゴにもサクラソウが
使われているよ！



サクラソウ



移植活動の様子



国土交通省 関東地方整備局

荒川上流河川事務所

■ 事業に関するお問い合わせ
流域治水課 荒川緊急治水対策推進室
049-246-6360

■ 工事に関するお問い合わせ
越辺川出張所 入間川出張所
0493-34-3129 049-231-0458

入間川流域 緊急治水対策 プロジェクト 工事推進中！

① R5都幾川左岸矢来樋管改築他工事

入間川流域緊急治水対策プロジェクトとして東松山市下青鳥地区の「矢来樋管」の改築及び築堤盛土を行っています。樋管構築時にはCIMデータを活用し、築堤盛土施工時はICT技術を活用し施工を進めています。令和8年2月までと長い工事期間となりますが、安全第一で工事を進めていきますのでご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。



現在の状況



工事の様子

松尾建設株式会社
現場代理人

山之口 蒼二さん



② R5都幾川右岸小剣樋管改築工事

都幾川にて小剣樋管の改築工事を施工しています。施工範囲を鋼矢板で締切って施工を行うのが特徴の工事となります。11月より樋管改築工事の仮設工事を行っています。安全第一で工事を進めていきますので皆様のご理解とご協力をお願いします。



鋼矢板打設の様子



工事の様子

北野建設株式会社
現場代理人

牛山 智広さん

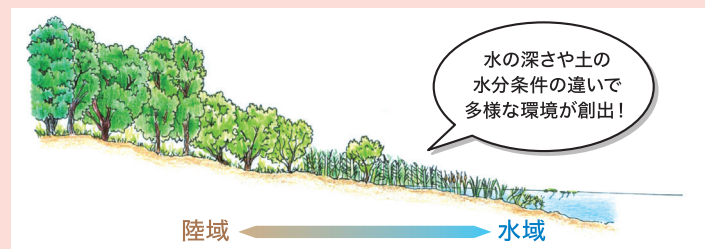


河川工事における環境への配慮

入間川流域緊急治水対策プロジェクトのような人の暮らしを守る治水事業では、復旧・改修などの河川工事にあたって、河川の動植物やその生息・生育環境への配慮を行っています。特に希少な動植物(環境省レッドリスト掲載種など)については、地域の方々のご協力も得ながら、治水・利水と環境との調和を考慮し、必要に応じた保全措置を講じています。

河道掘削による多様な環境の創出

洪水を流れやすくするため、河道内の土砂掘削を行うにあたっては、水際から陸側にかけて緩やかな勾配で切り下げています。緩やかな勾配にすることで、水の深さや土の水分条件が少しずつ変化し、多様な環境が創出されます。河道掘削工事では、こういった環境が形成されることを目指して実施しています。



施工の様子

創出された水際の浅場でエサをさがすサギ類(越辺川)

入間川流域緊急治水対策プロジェクトの河道掘削工事では、水際まで切り下げるなど、多様な環境の創出につながるよう配慮し、施工後には水鳥の飛来などを確認しています。

もっと詳しく知りたい方は…

プロジェクトの最新情報は荒川上流河川事務所のホームページからご覧いただけます。

本プロジェクトで推進中の入間川・越辺川・都幾川の堤防整備工事、河道掘削工事、樋管改築工事等については、早期整備を目指し鋭意施工中です。

事前確認・事前調査

事前確認

事前に施工範囲の河川水辺の国勢調査の結果などの環境情報を確認し、必要な場合には工事影響の回避・低減ができないか等を検討しています。

事前調査

特に希少な種の確認情報があつた場合などには、現地調査を実施し、植物の移植などの対策をしています。



現地調査の様子



移植の実施状況

掘削範囲の縮小(生息・生育環境の保全)

生物の生息・生育環境を保全するため、掘削する範囲を見直し、環境に配慮した施工方法を実施しています。紺屋地区の工事では、当初の計画よりも深く掘ることで、断面積を確保しながら、樹木を伐採する範囲を縮小しています。



紺屋地区施工箇所

